
第3回 町田市地域公共交通会議 会議録

開催日時：2017年7月12日（水）9時00分～10時30分

開催場所：町田市庁舎3階 3-1会議室

出席委員：17名

町田市地域公共交通会議設置要綱第6の2に基づき出席を求めた者

（オブザーバー）：1名

傍聴人：1名（途中入室）

事務局：7名

【会議次第】

1. 開会
 2. あいさつ
 3. 委員の紹介
 4. 議事
 5. その他
 6. 閉会
- *****

【議事】

<協議案件>

- (1) 小山田桜台・多摩南部地域病院間 ワゴン車運行事業について
- *****

【資料】

- ・協議案件資料 小山田桜台・多摩南部地域病院間 ワゴン車運行事業について
資料1 小山田桜台・多摩南部地域病院間 ワゴン車運行事業について
 - ・委員名簿
 - ・町田市地域公共交通会議設置要綱
 - ・第2回町田市地域公共交通会議会議録
- *****

《1. 開会》

〔会議成立報告〕

○事務局

それでは定刻になりましたので、ただいまより、第3回町田市地域公共交通会議を開会させていただきます。

本日は、17名の委員の方々にご出席いただき、『町田市地域公共交通会議設置要綱』第6の3により、過半数の出席がありますので、成立いたしますことをご報告申し上げます。

〔会議の公開〕

○事務局

次に、この会議は、『町田市審議会等の会議の公開に関する条例』第3条の規定に基づき公開の対象となる会議でございます。本日の開催にあたりましては、条例に基づく告示とホームページ等により、傍聴のご案内を行いました。

本日の傍聴者は現在のところいらっしゃいません。

なお、会議途中に傍聴の申し出がございました場合、入室をしていただきますのでご了承を頂きますようお願いいたします。

《2. あいさつ》

(省略)

《3. 委員の紹介》

(省略)

〔オブザーバー出席の報告〕

○事務局

次に、オブザーバーの出席についてご報告申し上げます。

本日の協議案件(1)「小山田桜台・多摩南部地域病院間 ワゴン車運行事業について」に関連して、本日はオブザーバーとして、委員以外の方にもお越しいただいております。

町田市地域公共交通会議では、設置要綱第6の2において、「会長は、必要があると認めるときは、交通会議に委員以外の者の出席を求めることができる。」としております。

今回の協議案件(1)では、運行経路の一部で多摩市内を通行するため、本会議で協議を行うにあたり、多摩市に関連する方の参加が必要であると認められます。このため、設置要綱第6の2に基づき、多摩市役所のご担当者に出席を求め、本日オブザーバーとしてご参加いただくこととなりましたので、ご報告いたします。

オブザーバーの方は、委員外のご出席となるため議決にかかわることはできませんが、ご発言は自由にしていただけますので、どうぞご忌憚のないご意見を頂戴できればと思います。よろしく願いいたします。

《4. 議事》

協議案件

(1) 小山田桜台・多摩南部地域病院間 ワゴン車運行事業について

〔説明資料〕

協議案件資料

小山田桜台・多摩南部地域病院間 ワゴン車運行事業について

資料1 小山田桜台・多摩南部地域病院間 ワゴン車運行事業について

〔議事要旨〕

○会長

それでは、ここから議事に入るといことで、オブザーバーの方はどうぞお席へお願いいたします。

それでは、自己紹介をお願いいたします。

●オブザーバー

オブザーバーで参加させていただくこととなりました、多摩市役所都市整備部道路交通課交通対策担当課長の渡邊と申します。公共交通、交通安全等々交通全般を担当しております。本日はよろしくをお願いいたします。

○会長

それでは、議事の内容に入ります。

4. 議事、協議案件（1）「小山田桜台・多摩南部地域病院間 ワゴン車運行事業について」、説明をお願いします。

○事務局

【協議案件資料（資料1）による説明】

（省略）

○会長

説明のとおり、一通りの計画が出てきましたので、今回はこれについてご議論いただければと思います。

順番等は特に問いませんので、どなたかご意見、ご質問等いかがでしょうか。

●委員

導入車両は常用が2台、予備が1台ということですが、利用客のリサーチ、事前調査はなされたのかどうか、お尋ねいたしたい。

○会長

これまでの検討経緯、特に地域の方々との部分について、ご紹介ください。

○事務局

町田市ではこれまでいくつかのコミュニティバスを運行してきましたが、地域の方にアンケートを実施すると、かなりの方から「乗車する」との回答をいただきます。しかし、実際に運行してみると、あまり利用がなかったという経験があります。

今回の路線は小山田桜台という大きな団地を抱えています、検証運行という形で実施させていただいている間は、朝の通勤スタイルや学生さんの通学スタイルはなかなか変わらないだろう、ということを経験の町内会長様方ともお話をしています。

そこで今回は、今までバスが全く通っていなかった、町田市道忠生630号線沿いの方々にだけアンケート調査を実施し、「忠生630号線沿いの方々がどれくらい唐木田駅を目指すか」ということの調査を行いました。それ以外の地域には、調査は行っていないという状況です。

町内会長様方も、「のりこぼし」を気にされますが、今回の検証運行の中で、地域の方々と調整をしながら、地域の皆さんに乗っていただくことによって量を増やしていく、「地域がこの路線を創っていく」という形をとりたいと思っています。

●委員

今おっしゃっていただいたことは妥当だと思います。この計画が住民の方に周知されていく段階になるとまた情勢は変わるとも思いますので、期待して見守りたいと思

ます。

●委員

多摩南部地域病院まで行くということですが、住民の方から病院へ行きたいという要望があったのかどうか確認させてください。

○事務局

唐木田駅にバスの待機スペースがないため、多摩南部地域病院を終点としました。

●委員

今回の事業主体は町田市ということですが、検証運行の結果、仮に本格運行に移行するとなった場合に、町田市はどのような関わり方をするのか。町田市が事業主体となって、いわゆるコミュニティバスとして運行するのかどうか、お聞かせください。

○事務局

当面、忠生630号線が完成するまでは、町田市が事業主体となり、コミュニティバスのような形で行います。もしかかなり多くの方がご利用いただけるような状況であれば、またこの会議に諮らせていただいて、事業者さんが運行する通常の路線バスのような形にしていきたいと、市としては考えております。

●委員

先ほどの質問の確認ですが、コミュニティバスを運行するのではなくて、路線バスの試行段階として小さいバスを通すという手続きを踏もうとしているということでしょうか。

○事務局

今現在の想定では、今後5年程度はコミュニティバスのような形で行うことを考えております。

●委員

3ページの運行経路の中で、乗車のみ、降車のみといった停留所があるようだが、実際に運行を開始されれば、第一に考えるのは利用者の利便性であって、利便性が向上することで利用者が増えていく、という良い循環になると思います。そうした中で、当初からこういった制約があると、本来の目的からすると抑制的な結果になるのではないかと考えられるが、いかがでしょうか。

○事務局

唐木田駅東から多摩南部地域病院の区間については、「多摩市ミニバス」と並走する区間のため、競合を避けるためにこのような形としました。また、町田市としては、小山田桜台と唐木田駅の間を高い頻度で運行することを目指しておりますので、路線長を短くしたいという部分もあって、このような形にさせていただいております。

●委員

多摩南部地域病院から唐木田駅東までの間は、ほとんど乗客はいないだろうということなんでしょうか。

○事務局

多摩市さんのミニバスと運賃が異なる部分がありますので、その辺りの調整という意味で、この区間での乗降はできない形をとっております。

●委員

その辺りの部分は、同じ自治体同士で何とかならないものなのではないでしょうか。住民の利便性を上げるという点では、町田市も多摩市も一致するはずなので、競合しているからできません、というのは上から目線なのではないかと思うがいかがでしょうか。

○事務局

この点については、この会議の中でご意見をいただきましたので、バス事業者さんも含めて調整させていただければと思います。

○会長

オブザーバーの方に特に意見を求めるわけではございませんが、この点はオブザーバーの方も関わってくる部分だと思しますので、よろしく願いいたします。

●委員

唐木田駅の駅前についてですが、今後バスが待機できるような整備をするだとか、駅前の整備計画のようなものがあれば教えていただきたい。

●オブザーバー

今現在は、はっきり「ある」とは申し上げられない状況です。唐木田駅前は民地の多い場所で、市が保有している土地はほとんどない場所です。このため民間事業者様とお話をしていかなければならないところなので、再整備計画は現在のところないというのが現実でございます。

●委員

順調にいけば10月頃の運行ということころで、唐木田駅へは通勤通学の方が多いと思います。恐らく6か月定期を持っている方が多いかと思しますので、早めに時刻表などを地元で流していただいて、定期の買い替え前に、手段の判断ができるようなタイミングでお願いいたします。

○事務局

9月の地域公共交通会議でこの内容で議決いただけましたら、すぐに町内会さんへのパンフレットの配布やホームページへの掲載等、広報してまいりたいと思います。

●委員

コミュニティバスで運行していくということですが、乗車人員のことを考えると、小山田桜台周辺の団地の方々が唐木田へ向かうというケースがどんどん増えてこない、収支の面では厳しいのではないかと想像しています。その辺りで、新宿に出たいと思ったときに、町田に出るか唐木田に出るかという選択肢の中で、金額的にそれほど変わらないとすれば、唐木田に出る時間的な有利さがポイントになるかと思えます。

そこでお伺いしたいのですが、資料の中にある町田まで26分というのは、日中の時間帯と考えてよろしいのでしょうか。通勤時間帯はもっと時間がかかるように思いますが、まずは情報を確認できればと思います。

○事務局

資料に掲載している情報は、あくまで神奈川中央交通さんのホームページに掲載されている情報で、ダイヤ上26分ということになります。委員おっしゃるとおり、時間帯によっては、渋滞等で時間がかかるということは十分考えられると思います。

小山田桜台から唐木田については、今回の経路である忠生630号線は、通常渋滞があるような道路ではございませんので、概ね資料にあるとおり、概ね14分から1

5分の時間で行けると考えております。

●委員

このワゴンは、通勤通学の方が利用できるものなのでしょうか。

○事務局

ご利用いただけます。通勤・通学定期を設けることはいたしません、どなたでもご利用いただけます。

●委員

そうすると、通勤通学者が多数いた場合、3台でまわせるのでしょうか。

○事務局

6時・7時台は2便運行する予定ですが、とはいっても少ない人数しか乗れませんので、その辺りも含めて、今回検証させていただきたいと考えております。

●オブザーバー

私の方からは質問といいますか、お願いが何点かございます。

1点目は、沿道の自治会さんにお声がけはいただいていると思いますが、今日のこの計画内容でお伝えしていただいているかという点です。お伝えしていただけていないのであれば、唐木田駅東での乗降の関係等をぜひお伝えしていただきたい。

なぜかといいますと、多摩市では、実証実験やコミュニティバスの運行に際しては、必ず住民説明会を開いて説明し、ご意見も伺った上で進める、という形をとっております。今回の計画は多摩市内を通っておりますので、唐木田駅東から多摩南部地域病院間の沿道自治会さんには、ぜひともこの計画内容をきちんと説明していただきたいと思っております。

2点目は、現状のご報告になるのですが、唐木田には、昨年まで多摩市で2か所の駐輪場を保有しておりました。1か所は臨時ということで期限付きのものだったので、昨年度末で廃止させていただいております。

この駐輪場の利用者は、実は9割が多摩市外の方で、6～7割が町田市の方だったという利用状況でございました。実際閉鎖した後に、町田市民の方から多くお声をいただいております。臨時駐輪場が閉鎖され、そこに今回のバスが走るということで、利用人数の部分で気になるところもございますので、状況をみてお考えいただけたらと思っております。

逆に、町田市側で良い土地があれば、そこに駐輪場など作っていただくという方策も、関係部局と調整していただくと、よりワゴン車を有効活用できるのではないかと考えられます。

3点目は、駐輪場をご利用されていた方々の利用目的を見ますと、始発駅ということで、座って都心まで行けるというところで、多少遠くても町田市側からも自転車で来ていたということです。

このメリットを活かすために、小田急線の複々線化がここで完了するとのことですので、多摩急行の増便確保等、町田市と多摩市が協働して、唐木田駅を利用する町田市民、多摩市民の利便性が向上するようにしていきたい。

それにより利用者が増えれば、道路整備が進んだ後の路線バス化も見えてくるというところで、ぜひ一緒に考えさせていただきたいと思っておりますので、町田市でもそういった発想をもっていただければありがたいと思っております。

○会長

ありがとうございます。鉄道の方は、動かしながら色々みていくのだらうという気がします。時刻表を見てみるとあまり多摩急行は本数が多くない。今は使い勝手があまり良くないのかもしれませんが、半年後、一年後くらいには大分変わるのかなという気がします。

●委員

今のお話の中で、駐輪場利用者の6、7割は町田市民だというお話があったんですが、人数の規模はどの程度なのでしょうか。

●オブザーバー

細かいデータが手元にございませんで、はっきりとした数字はお伝えできませんが、収容台数が300台程度の駐輪場で、契約者が200件に届くかどうかくらいでしたので、町田市側からは120から150台程度で、大半がバイクでした。

●委員

運行計画のところで、予備含め3台の車両でIC運賃対応というお話をいただいたのですが、設備投資費用や収支予測について資料には記載がなかったので、わかれば教えていただきたいと思います。

○事務局

まず設備投資費用ですが、今現在、ワゴン車3台で2,400万円の契約をしております。IC料金機については、PASMO協議会加盟会社でないと購入ができないということで、その分の500万円が上乗せされますので、2,900万円ということ考えております。

次に収支予測についてですが、1便あたり4人の乗車があったと仮定すると、半年の運行で、今年度は運行事業者への補助額が850万円となる予測をしています。運行経費が半年で1,150万程度、収入が300万円程度を見込んでおりますので、市から事業者への補助額が850万円程度となります。

●委員

事業の目的の一つに、乗継の促進ということが記載されているが、これまで住民の方から乗継への要望等はあったのでしょうか。

○事務局

乗継の要望については、町田市各所でございます。特に、町田バスセンターでの乗り継ぎについては、かなりのご要望をいただいております。

●委員

乗継ができるのは、起終点の小山田桜台のみが対象となるのでしょうか。

○事務局

小山田桜台のみを考えております。

●委員

乗継の場合は100円になるということで、これはICカードに対応しているのかどうか、また、降車場所によらず100円になるのかどうか、確認させてください。

○事務局

今回取り付けるIC料金機は簡易的なものであるため、乗継についてはICカードに対応していません。乗継運賃は、降車場所によらず100円となります。

●委員

今回のワゴン車両は車いすで乗車可能でありがたいのですが、車いすには様々なタイプのものがあり、固定する際にトラブルが起きますので、できれば、幅広い固定方法に柔軟に対応できるようにしていただければありがたいと思います。

○会長

この点については、できる限りのことをぜひご検討ください。

私からは、乗継運賃についてなのですが、バスを運行していらっしゃる立場での感覚をお伺いしたいのですが、システム上の関係で、お客様の自己申告でやらざるを得ない中で、不正が全くないとは言えず、現場での対応もしずらい中で、事業者さんの立場で、このようなことをするのが筋の良い話なのかどうか、率直なところを伺いたいというのが1つです。

もう1つは、乗継運賃100円というのが、市民の感覚としては利用しやすくありがたいと思いつつも、乗り継がないで全線乗ると300円、路線バスの初乗り区間から乗り継ぐと180円+100円で280円となり、乗り継いだ方が安くなる運賃設定になってしまうということが良いのかどうか、感覚的で結構ですので、何かあればお願いします。

●委員

乗継割引については、神奈川県内の自治体では実績がありますが、町田市内では初めてということで、本来であれば、ICカードで、自動で、というのが一番良いとは思いますが。

今回については、路線バスは従来通りで、ワゴンの方で信用形式ということで、ある程度地域性というか、乗務員も限定で同じようなメンバーでハンドルを握らせますので、いつものお客様は大体わかると思いますし、毎回毎回不正に申告するということは、そうそうないのではないかと思います。

そうしたところでは、路線バスは変えずにワゴンで値引きする、というのが乗務員の負担も一番少ないでしょうということで、今に至っているということでございます。

○会長

乗り継いだ方が20円安くなるという点については、いかがでしょうか。

お客様からすると「なぜ」というご意見もあるかと思いますが、かといって200円にしてしまうと割引の価値がなくなってしまうと思いますし、率直に難しいとは思いますが、けれども。

●委員

今回は実験ということで、ここだけに限らず、会社としてもこのようなことを行った際に、お客様の動向など、どういう流れになるのかということを見てみたいと思っています。

乗継については、お客様からも様々なお声がありますので、ここに限らず、研究していきたいところが本音でございます。

○会長

今回の乗継は、終点で乗り継ぐ場合だけなので、団地の中で乗り継ぐことを想定していると思います。例えば、シルバーパス利用の方が乗り継ぐ場合割り引くのかなど、細かい部分の検討は必要だと思っておりますので、次回までお願いいたします。

●委員

コミュニティバスに関わる地元住民からすると、せっかく走らせるのであれば安定運行してほしいという思いがあります。道路整備が前提のところもあると思いますが、今後5年程度はコミュニティバスのような形で行うとのことで、その後の見込みはどうなのか、教えていただければと思います。

○事務局

説明でコミュニティバスという言い方をしましたが、「道路ができるまでは市が補助を入れる」という意味でコミュニティバスという言葉を用いています。今回の事業は、玉川学園地区や金森地区で、地域組織、事業者、市の三者協働で運行しているコミュニティバス事業とは異なり、路線バス事業との二者の関係のなかで、運行赤字分を市が補助するというものになります。

ご質問のご回答ですが、道路が完成したら、ということにはなりますが、路線バスに引き継いでいければと考えております。5年後にやめるのか、続けるのかについては、現時点では何とも申し上げられませんが、利用率をあげていながら、路線バスに引き継いでいきたいと考えております。

●委員

検証運行ということで、今後増やしていくということですが、通勤・通学のことを考えると、恐らく、この地域の方は定期券で町田駅まで行っていることと思います。割安の定期券を持ちながら、あえて300円出してワゴンに乗るでしょうか。料金面から考えると、結果が抑制的なものになってしまうのではないかという懸念があり、検証の土台としては問題があるのではないかと思います。

○会長

筋が良くない部分もあるかとは思いますが、長い時間をかけて検討してきた中で、そういったことも十分認識した上で、そろそろ実施をしようということだと思います。通勤の方に乗り換えていただきつつ、乗りこぼしもおこらないように、というところで、難しい部分もあるけれども、実験的に行っていく中で考えていくということだと思います。とにかくまず動かしてみ、検証していく。今後路線バスにうまくバトンタッチしていくためにつないでいく、というところだと思います。

○会長

ほかにありませんか。

(なし)

○会長

よろしいでしょうか。特になければ、これで終了とさせていただきます。
ありがとうございました。

《5. その他》

○会長

議事は終了いたしました。次に「その他」です。
委員の皆様から何かございますでしょうか。

(なし)

ないようでしたら、事務局からお願いします。

○事務局

ありがとうございました。

事務局からは1点、次回の会議日程についてでございますが、第4回の日程については、9月15日金曜日、午後2時からを予定しております。8月中旬ごろに開催通知を発送させていただきまして、出欠の確認をさせていただきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

○会長

これで一通り終了ということになりますが、全体をとおして委員の皆様から何かご意見、ご発言はありますか。

(なし)

○会長

よろしいでしょうか。
それでは、進行を事務局にお返しします。

《6. 閉会》

○事務局

皆様お疲れ様でした。本日はこれで終了となります。
お忙しい中、誠にありがとうございました。

町田市地域公共交通会議 会長

岡村敏之